



# 日中企業連携PJ 2014年度・活動報告

2015年9月

2014年度日中企業連携PJ



## 日中企業連携PJのミッション

- ①年1回開催する連携会議を通じ、日中の企業間で特定テーマにつき情報／意見交換を行うと共に、その内容を会員に伝える。
- ②中国のパートナーである
  - ・中国專利保護協會 (PPAC)
  - ・広東省知識産権局／広東省知識産権研究会
  - ・上海市知識産権局／上海市知識産権服務中心 (SSIP)との強い繋がりを、継続して維持する。





# 中国側のパートナー

## 中国專利保護協會



王 会長

## 広東省知的産権研究会



郑常務副理事長





## 日本側メンバー(写真:北京会議全体写真)



竹本 JIPA理事長  
花本 JIPA常務理事  
西尾 JIPA事務局長  
古谷 専務理事付  
海野人材育成グループ

◆テーマ1  
東レ(皆川 量之)  
キヤノン(上野 智行)  
DIC(齋藤 嘉久)  
富士通(椿 正俊)

◆テーマ2  
ソニー(阪田 瞬)  
日立(奈良橋 一也)  
理光(中国)(永塚 広明)  
パナソニック(槻尾 泰信)





# 日中企業連携会議のテーマ

年度	北京	上海	広州(2011～)
2005	上海フォーラム 「日中企業連携と知的財産」、「国際間技術提携」		
		「人の管理」「情報の管理」	
2006	「管理体制」、「出願戦略」、「自社の権利活用」、「他社権利対策」	「産学連携のあり方」、 「大学と企業との契約の留意点」	
2007	「インセンティブ」、「技術管理」	「ブランド管理」、「技術管理」	
2008	「戦略的な特許網の構築」、「企業内での知財教育活動」		
2009	「権利取得」、「権利活用」		
2010	「職務発明と発明評価・報奨」、「知的財産権の活用」		
2011	「人材育成・知財教育」、「知的財産権の活用」		
2012	「出願・権利化」、「権利の管理と有効活用」 ※上海は中止		
2013	「出願戦略と戦略遂行のための対策」、「特許侵害回避と対応」 ※北京は中止		
<b>2014</b>	<b>テーマ1:「グローバル事業におけるIPリスク対応」</b> <b>テーマ2:「事業活動におけるIP活用戦略」</b> ※上海は2015年10月に日本で開催予定		





# 日中・企業連携会議の歴史 ～2011年度～

北京



上海



午前中「人材育成・知財教育」、午後「知的財産権の活用」について、プレゼンとグループ・ディスカッション。総勢約100名という多数の参加者を得、極めて活発なディスカッションを行なうことができた。



～世界から期待され、世界をリードするJIPA～



# 日中・企業連携会議の歴史 ～2012年度～

広州



グループディスカッション



全体討議

成都(PPAC地方開催)



出願大国となった中国の企業が特に関心を抱いている「出願・権利化」および「権利取得後の管理と活用」というテーマを取り上げて、日中双方の企業からのプレゼンと活発なディスカッションを行いました。  
2012年度上海会議は中止。





# 日中・企業連携会議の歴史 ～2013年度～

上海



特許出願戦略グループ



侵害回避・対応グループ

広州



グループディスカッション

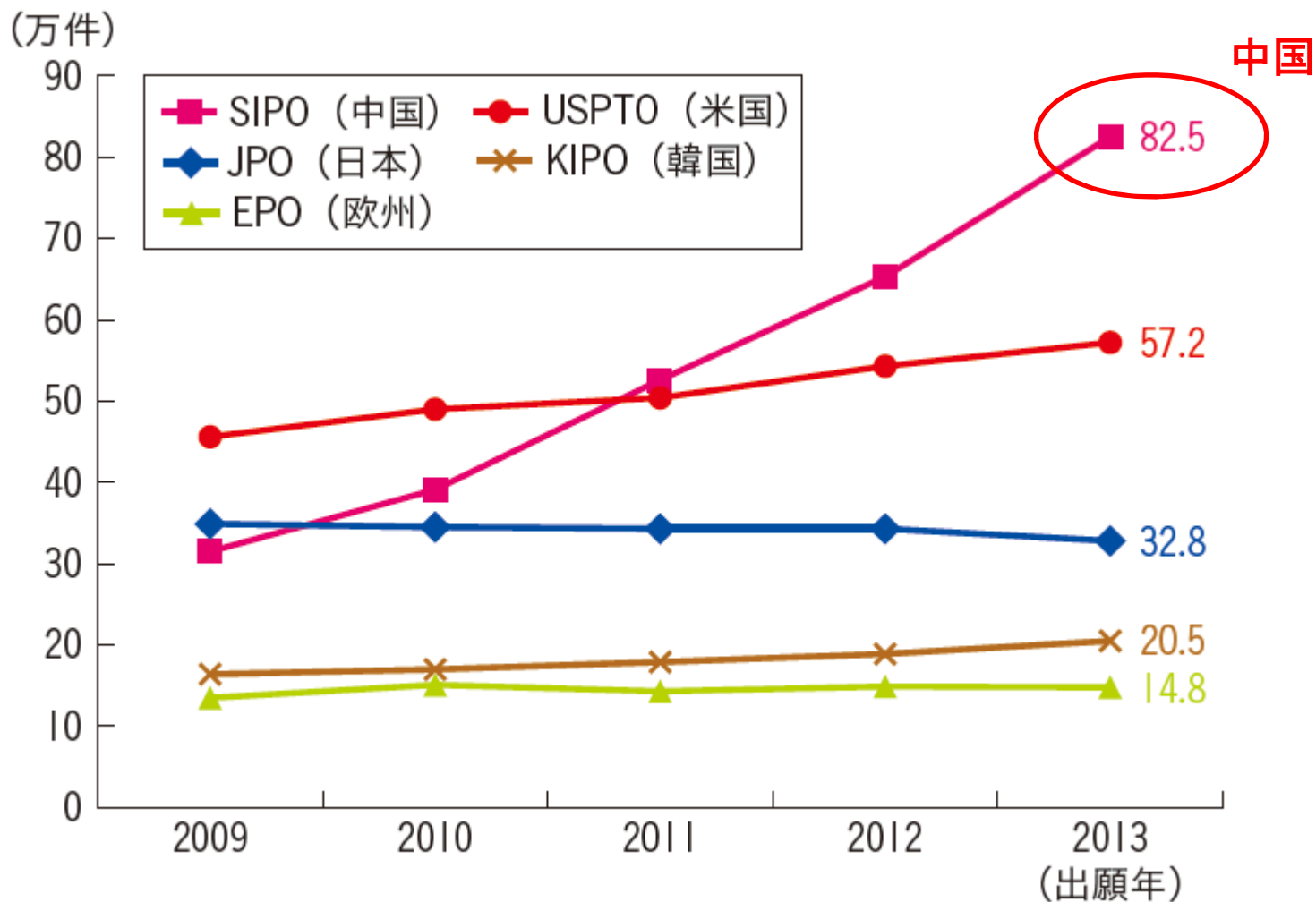
日中双方が高い関心を持っている「特許出願戦略」と「特許侵害回避と対応」のテーマにて、プレゼンとディスカッションを行った。両テーマとも、日中双方から質問が相次ぎ、知財意識の向上やディスカッションのレベルアップを感じた。2013年度北京会議は中止。







# 五大特許庁における特許出願状況



出典：特許行政年次報告書 2014年度版





# PCT出願件数ランキング

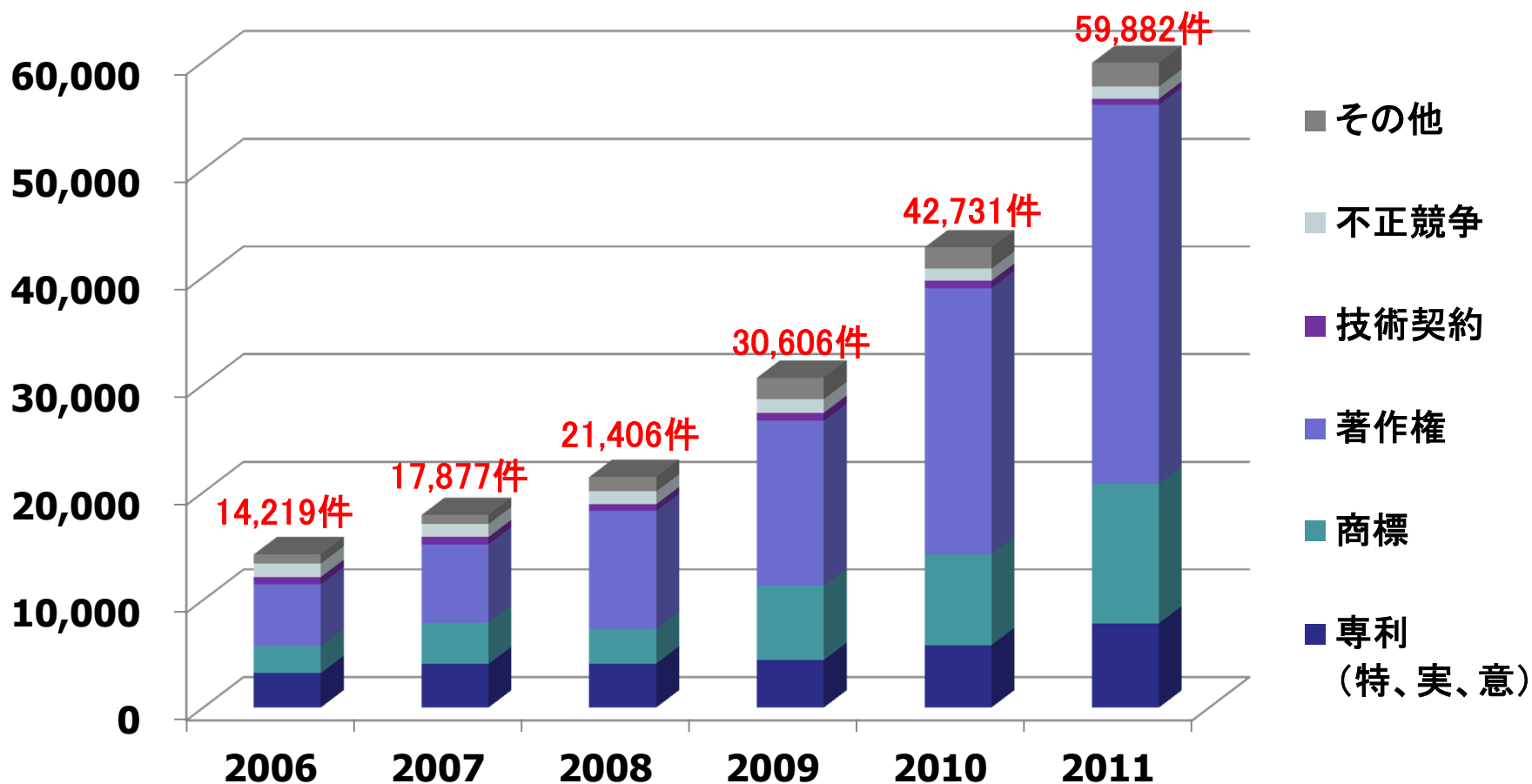
順位	2005	2010	2013	2014
1	PHILIPS(NL) 2,492	<b>PANASONIC(JP)</b> <b>2,154</b>	<b>PANASONIC(JP)</b> <b>2,881</b>	<b>HUAWEI(CN)</b> <b>3,442</b>
2	<b>MATSUSHITA(JP)</b> <b>2,022</b>	<b>ZTE(CN)</b> <b>1,863</b>	<b>ZTE(CN)</b> <b>2,309</b>	QUALCOMM(US) 2,409
3	SIEMENS(DE) 1,399	QUALCOMM(US) 1,677	<b>HUAWEI(CN)</b> <b>2,094</b>	<b>ZTE(CN)</b> <b>2,179</b>
4	NOKIA(FI) 898	<b>HUAWEI(CN)</b> <b>1,528</b>	QUALCOMM(US) 2,036	<b>PANASONIC(JP)</b> <b>1,682</b>
5	BOSCH(DE) 843	PHILIPS(NL) 1,435	INTEL(US) 1,852	MITSUBISHI(JP) 1,593

出典: WIPO





# 中国知財訴訟状況



(注): 中国における知的財産権民事訴訟受理件数(一審)





## 中国の変化(2005年から2014年)

- ✓ 「Give & Give」から「Give & Take」へ
- ✓ 国家が知財活動を強力に推進
- ✓ 出願管理、棚卸への意識
- ✓ 権利活用、売買、譲渡の話題も
- ✓ 受身でなく能動の知財へ
- ✓ 標準化との関係にも興味
- ✓ 女性の進出(知財関係者に女性比率が高い)





# 2014年度 北京・企業連携会議

日時:2015年3月25日 場所:西安(西安建国飯店)

テーマ	中方企業	日方企業
グローバル事業 におけるIPリスク	中興通信 [ZTE] 天士力 [TASTY] 騰訊 [TENCENT] 愛国者 [AIGO]	東レ(皆川量之) キヤノン(上野智行) DIC(齋藤嘉久) 富士通(椿正俊)
事業活動における IP活用戦略	比亞迪 [BYD] 緑葉製薬 [LUYE] 西安炬光[FOCUSLIGHT] 北京康信 [KANGXIN]	パナソニック(槻尾泰信) ソニー(阪田瞬) 日立製作所(奈良橋一也) リコー(永塚広明)





# 2014年度 北京・企業連携会議

## テーマ1: グローバル事業におけるIPリスク <日方発表>



- 東レ  
技術開発における現地法人の活用の取り組み
- キヤノン  
第三者特許の徹底回避と、クロスライセンスによるリスク低減やNPE対抗の取り組み
- DIC  
営業秘密漏洩リスクに対し、人事管理を含めた営業秘密管理の取り組み
- 富士通  
商標のリスク回避の取り組み、および、適切な権利行使(商標権侵害対応、冒認出願/模倣品対応、不正ドメインの対応)によるリスク排除の取り組み

質疑では、現地法人で発生した発明の権利化に関する質問、NPE対応のライセンスの枠組みへの具体的な参加条件、営業秘密保護の対策に対する従業員の反応など、具体的、実務的な内容に踏み込んだ議論が行われた。



# 2014年度 北京・企業連携会議

## テーマ1: グローバル事業におけるIPリスク <中方発表>



### ■ ZTE (通信)

これまでの知財訴訟経験から、訴訟を有利に導くため、実務に落とし込んでいる取り組みについて

### ■ TASLY (医療機器)

専利出願による防衛ネットワークの構築や応訴対策の際の検討事項について

### ■ Tencent (SNS)

特許情報をアライアンスなどにも活用し、Win-Winで安定的なパートナー作りを行っている。

### ■ AIGO (モバイルメモリ)

紛争解決は、協議・交渉による解決、専門家による解決、司法による解決の優先順位で実施。

社内外と連携した組織対応や、リスク回避の取り組み等、興味深いものが多かった。特に訴訟対応については日本側の発表者にとっても学ぶべき点が多く、サプライヤへの訴求や訴訟地の選定、訴訟費用削減等について活発な議論が行われ



た。

～世界から期待され、世界をリードするJIPA～



# 2014年度 北京・企業連携会議

## テーマ2: 事業活動におけるIP活用戦略 <日方発表>



### ■ パナソニック

競合他社に対する知財バランス向上の取り組みの  
の果、企業連携の中で知財が高く評価された事例

### ■ ソニー

標準化とパテントプールについて、仕組みとして  
成功は見られるが、一方で課題も垣間見えてきた  
ことを具体事例を交えて発表

### ■ 日立

キーテクノロジーに関する特許について、グループ  
会社を横断した社内特許プール制度について

### ■ リコー

市場、事業のライフサイクル、競合状況を考慮  
した、クロスライセンス戦略について

質疑では、知財バランス向上の取り組みにおける技術と知財の役割分担や、成功しなかったパテントプールとその理由、クロスライセンスの際のポートフォリオ範囲の決め方など、具体的、実務的な内容に踏み込んだ議論が行われた。







# 2014年度 北京・企業連携会議

## テーマ2: 事業活動におけるIP活用戦略 <中方発表>



- BYD(電池・ハイブリッド自動車)  
專利(特許)価値を実現するために、知的財産の活用を体系づけて促進
- 緑葉製薬(製薬)  
研究開発等の動向に合わせ專利(特許)を戦略的に取得し、経営に役立てる取り組みが紹介。
- FOCUSLIGHT(半導体)  
專利(特許)のみならず、標準化団体への寄書、商標、著作権などを一括して知的資産として管理
- 北京康信華源知的財産コンサルティング  
專利(特許)の活用には、質の向上が欠かせず、この点において中国企業の管理、運用に改善の余地があるという問題提起。

発表者間の質疑に加え、会場からも活発に質問が寄せられ、知財資産や営業秘密の具体的な管理方法など、日中双方の企業に向けた質問が多く、このテーマに対する関心の高さが伺われた。



# 2014年度 広州・企業連携会議

日時:2015年3月25日 場所:西安(西安建国飯店)

テーマ	中方企業	日方企業
グローバル事業 におけるIPリスク	天威飛馬[PRINTRITE] 華為技術[HUAWEI] 騰訊 [TENCENT] 中興通信 [ZTE]	東レ(皆川量之) キヤノン(上野智行) DIC(齋藤嘉久) 富士通(椿正俊)
事業活動における IP活用戦略	迈瑞生物[MINDRAY] 比亞迪 [BYD] 炬光科技[ACTIONS] 京信通信[COMBA]	パナソニック(槻尾泰信) ソニー(阪田瞬) 日立製作所(奈良橋一也) リコー(永塚広明)





# 2014年度 広州・企業連携会議

## テーマ1: グローバル事業におけるIPリスク <中方発表>



- PRINTRITE (プリンタ消耗品)  
中国からの輸出製品に対する専利(特許)リスクの対応として、輸出国の事前調査や出願など。
- HUAWEI (通信)  
クロスライセンスを通じて他社技術を合法的に実施し、自主イノベーションの重要な補填とし、オープンイノベーションと知財保護の好循環を図っている。
- Tencent (SNS)  
グローバル業務の促進には、イノベーションの促進と成果の専利取得によるガードが基本
- ZTE (通信)  
NPEや標準特許の濫用に対し、一社のみではなく、広く政府まで巻き込んだ取り組みが必要。

テーマ1の全体質疑では、日本企業の保有特許の多さは経営とどのように結びついているのかという経営視点の内容から、係争に向けた具体的な準備・取り組み、クロスライセンスの考え方やNPE対応の取り組みなど、実務的な観点からの議論が活発になされた。



# 2014年度 広州・企業連携会議

## テーマ2: 事業活動におけるIP活用戦略 <中方発表>



### ■ MINDRAY (医療機器)

行政処置による権利行使の法整備状況や、意匠・実用新案を用いた行政措置の活用可能性について

### ■ BYD (電池・ハイブリッド自動車)

電池とハイブリッドカーの技術を例に、自主技術の権利化と、マーケットを開拓するために、知財を通じて協力会社や川下産業と連携を図っている。

### ■ Actions (IC設計)

技術管理のための従業員管理から、知財の評価、

従業員教育など、知財マネジメント全般について

### ■ Comba (無線電装、無線アクセス)

欧米企業2社の先行特許(ブラジル特許を含む)の無効化に成功し、海外進出に道を開いた事例

テーマ1の全体質疑では、日本企業の事業形態に併せた知財活動についての具体的な方法などが相次ぎ、知的財産に対する体系的な取り組みが中国企業においても重要視されていることが伺われた。



# 2014年度 広州・企業連携会議





## 成功の鍵

- ◆ 通訳・周さん、鄭さん  
(会議を成功に導く重要な鍵の一つ)



昨年に引き続きお世話になりました。  
今回は両会議ともに同時通訳



# ご清聴有難うございました

～世界から期待され、世界をリードするJIPA～



一般社団法人日本知的財産協会

